

経産省ライフサイエンス統合データベースプロジェクトの取り組み

村上 勝彦¹, 山崎 千里², 松矢 明宏^{1,3}, 間宮 健太郎^{1,4}, 小川 誠^{1,5}, 岸本 晃彦^{1,6}, 今西 規², 五條堀 孝^{2,7} (¹バイオ産業情報化コンソーシアム, ²産総研・バイオメディシナル情報研究センター, ³日立公共システムエンジニアリング(株), ⁴日立ソフト, ⁵(株)ダイナコム, ⁶(株)日立製作所 ⁷遺伝研・生命情報・DDBJ研究センター)

METI Life science integrated database project

Katsuhiko Murakami¹, Chisato Yamasaki², Akihiro Matsuya^{1,3}, Kentaro Mamiya^{1,4}, Makoto Ogawa^{1,5}, Akihiko Kishimoto^{1,6}, Tadashi Imanishi², Takashi Gojobori^{2,7} (¹JBIC, ²BIRC, AIST, ³Hitach GP, ⁴HitachiSoftware, ⁵DYNACOM Co., Ltd., ⁶Hitachi Ltd., ⁷CIB-DDBJ, NIG)

テクノロジーの進展に伴い、これまで多くのバイオデータベースや解析ソフトが産生されてきました。これらを有効活用できるようにするために、我々は「経済産業省統合データベースプロジェクト」を開始し、データベース等の情報を提供するポータルサイト MEDALS [メダルズ] (METI Database portal for Life Science) を公開しました (<http://medals.jp/>、図1右)。一方、ヒト遺伝子関連の分子データの統合を行うため、ヒト遺伝子統合データベース H-InvDB を基軸に、糖鎖関連データベース、機能性 RNA データベース等といった産総研のデータベースの連携を進めています。この活動は、注目度も高く、化学工業日報 (2009年11月25日付、「DB 統合化着々進展」) でも取り上げられました。

本学会では、このプロジェクトを紹介するだけでなく、毎年 Web 上で実施しているアンケートを通じて明らかとなったバイオ系データベースに内在する問題を議論します。

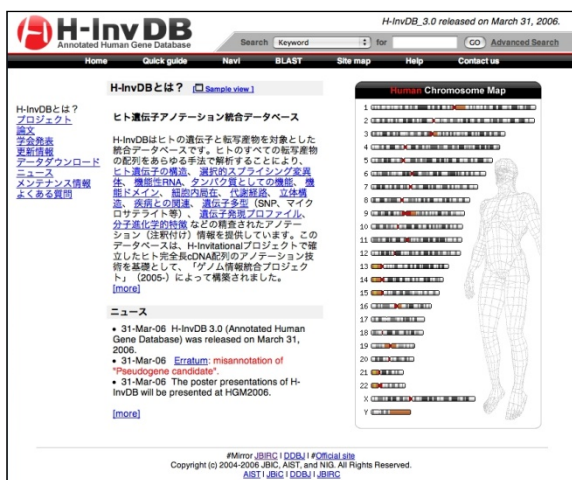


図1. H-InvDB と MEDALS。左図はヒト遺伝子統合データベース H-InvDB (<http://www.h-invitational.jp/>)。経済産業省プロジェクトの成果のうち主にヒトに関する分子データの統合を行います。右図は経済産業省ライフサイエンスデータベース・ポータルサイト MEDALS (<http://medals.jp/>)。経済産業省プロジェクトの成果物のデータベース閲覧を提供するほか、成果物の利用を促進する各種サービスを提供します。